

# 竜おうみ米の田植えを見学しました!

参加!  
消費材委員4名  
茨木ブロック委員6名

「竜おうみ米」の生産者「竜王町稲作経営者研究会（稲研）」では、ビニールハウスで品種ごとに苗を育て 4 月下旬から 1 か月かけて田植えをします。5月18日（木）に竜王町に行き、生産者と交流してきました。

今回の訪問先は古株牧場。古株さんは「稲研」の発足メンバーで450反の田んぼを持つ竜王町の中でも大規模な農家です。その生産量の約半分が生活クラブ向けに作られています。稲作のほかに乳牛50頭と肉牛680頭を飼育し、発酵させた牛糞を肥料として使うなど循環型農業をしています。田んぼの周辺では、半年前に入れたという牛糞のにおいが、どこから



古株牧場の従業員の方の田植え作業を見学。いつもは牛の世話をしているそうです。

ともなく漂っていました。

毎日コメを食べているのに、田植えをちゃんと見たことないわ……とささやく私たちを前に、古株牧場の若き従業員2人が、機械で手際よく田植えを進めていきます。暑いなかの見学でしたが、資料で見ると実際の田んぼで見るのではやはり違います。

「1回3成分以内」という除草剤が田植えと同時に散布されているところも見られました。農薬の使用はこの1回きりというのが生活クラブのお米の栽培基準です。昼食後は、生産者（古株さんと田中さん）とJA職員も同席して交流しました。

「米作りは楽しい」「自分の作った米がいちばんおいしい」といった言葉を直接聞けるのは、組合員として嬉しく期待値もあがります。「米は見た目の違いもほとんどないのに、こうやって買ってもらえることはありがたいと思う」も。今、いろいろなものが値上がりして家計を預かる者として悩ましいですが、ごはん1杯分28円（竜おうみ米5kg税込2,159円）。まずは、主食の米を「よやく・る」でしっかり食べていきましょう。「よやく・る」するとお米が定期的に届きます。配達職員が支所に直接連絡してください。

今回は田植えの見学でしたが、何も植えていない時期から土作りをしているお話が印象的でした。カタログからは見えない部分を実際に目にして五感で感じ取ることで、ごはんをいただく気持ちにより有り難み、感謝の気持ちが芽生えました。田んぼには古株牧場の牛糞を堆肥にふんだんに使っています。トラクターが通ると田んぼが耕されて臭うのですが、お米がぐーんとおいしくなる秘訣なんだそうです。



消費材委員はまだ大・大募集中！産地訪問や生産者交流会で生産者と会える、話せる！月に1回区民センターなどで集まっています。興味のある方はご連絡ください♪（生活クラブ本部 072-641-5547）



## アップルメイト は～じまるよ～



毎年楽しみにしている生活クラブのりんご。

今年から利用の仕方がへんし——ん！！（変わります）

申し込むといろんなりんごが届く「アップルメイト」という仕組みが登場。どの品種が来るかはお楽しみ6回シリーズの頒布会です。今年から生産者も増え、りんごの種類も増えます。ただし！！紅玉、シナノスイート、ふじは今まで通り品種指名で「よやく・る」してくださいね。

生活クラブのりんごは一番おいしい時に届く適熟出荷。シーズン初めに予約をすることで生産者は出荷の計画が立てられます。育てているりんごの行き先が決まっているということは生産者にとって安心で生産の意欲がわくことだと言います。私たちの顔を思い浮かべて育ててくれていると思うと、待ち遠しく嬉しいですね。♡クワッ

「アップルメイト」はその時に一番おいしいりんごが選ばれて届けられます。♡くわしくはアップルメイトの案内チラシを見てくださいね。7月11日週のカタログにも登場します。お見逃しなく！「よやく・る」した人にだけ届くお楽しみです。「よやく・る」しないと届きません！ カタログをチェック

## 牛乳を飲もう！



熱中症対策にはこまめな水分補給と「運動+牛乳」がおすすめ！！

1日15～30分、ややきつめと感じる運動の直後に牛乳を飲むと、体温調節機能が改善し、血液量が増えて熱中症リスクを効果的に下げることができます。本格的な夏が訪れる前から、牛乳で暑さに負けない体を作りませんか？

